

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

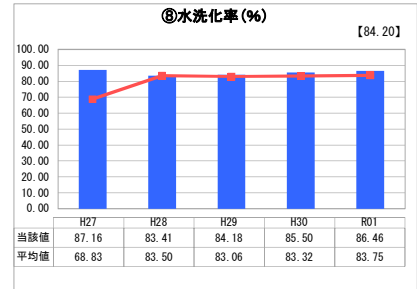
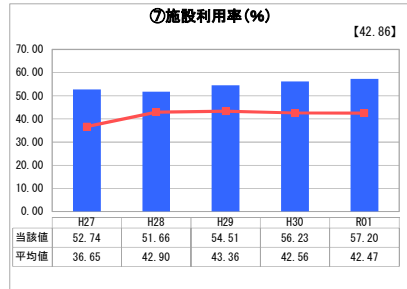
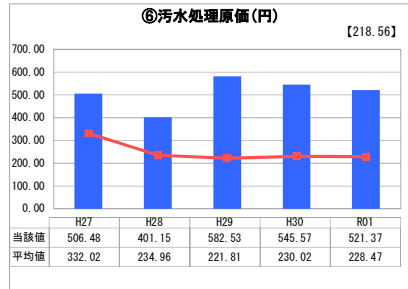
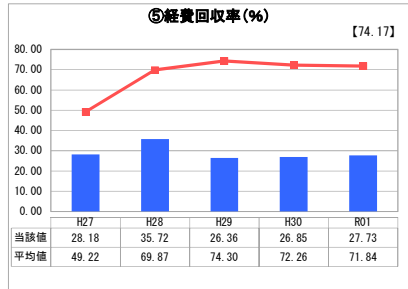
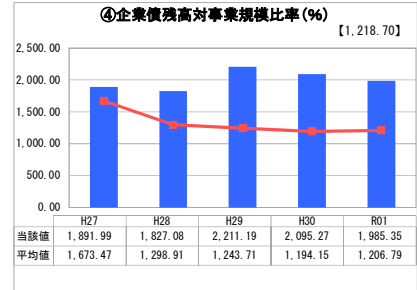
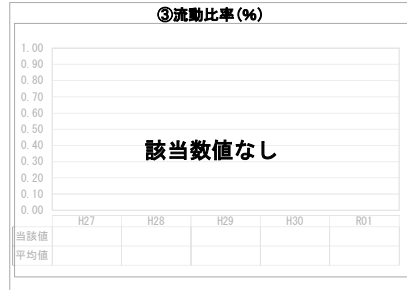
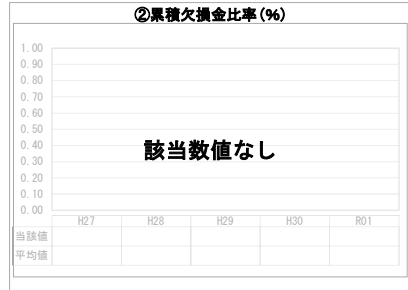
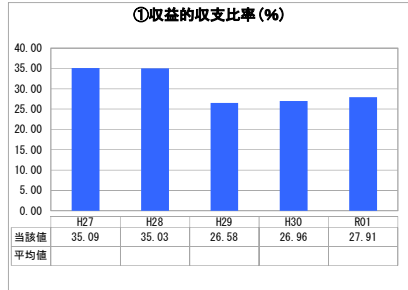
北海道 豊富町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	73.72	98.84	3,080

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,891	520.69	7.47
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,844	1.63	1,744.79

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
□	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については27%と低く、使用料収入では管理費等を賄えきれず一般会計からの繰入金によって補っている状況である。今後、設備の更新も実施することから、使用料改定を早急に行い、経営改善を図る必要がある。

④企業債残高については平成29年度をピークに減少傾向ではあるが、類似団体と比較しても高い数値となっている。今後発生する工事、設備更新等についても効率的な投資計画を策定し、また、更新計画については策定が完了しているストックマネジメント計画に基づき更新を行い、経費減少に努めなければならない。

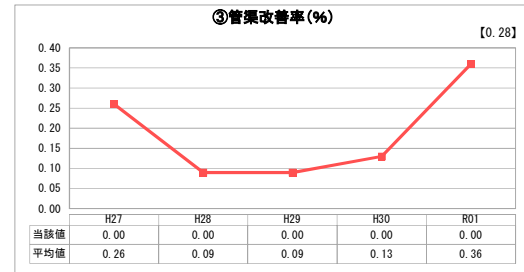
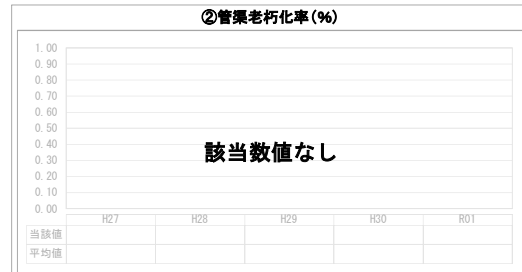
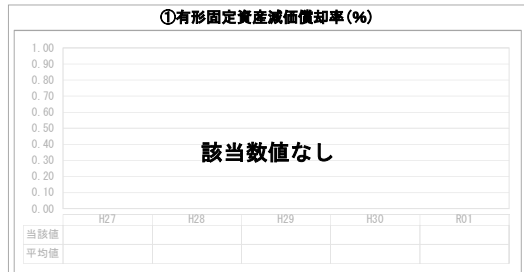
⑤⑥については、使用料収入で経費・汚水処理費を賄いきれていないため、水洗化率の向上や使用料の確保、経費削減に努めなければならない。

### 2. 老朽化の状況について

・管渠については計画的に点検調査を実施している。現在のところ老朽管はないが、将来に向け更新計画を策定しなければならない。

・施設については、18年が経過し施設内の機器更新整備や建物の老朽化が進んでいるので計画的に修繕等を実施しなければならない。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

本町の下水道事業の運営については使用料収入では賄いきれず、繰入金によって事業運営を行っているのが現状である。

今後、ストックマネジメント計画に基づき、浄化センター機械設備等の更新を実施していくが、更新費用も多額なため、財源確保に向けた使用料改定を早急に行うと共に、更なる経営改善の取組、長期計画の策定を行い、健全経営を図らなければならない。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。